

家庭教育・子育て支援担当者研修会

職員研修
有志指導者研修
要請研修

家庭教育、子育て支援に携わる方々16名の参加を得て、悩みや不安を抱える保護者に寄り添う支援方法である「ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム」を体験し、それぞれの立場でできる支援や関係機関と連携した支援を考えました。

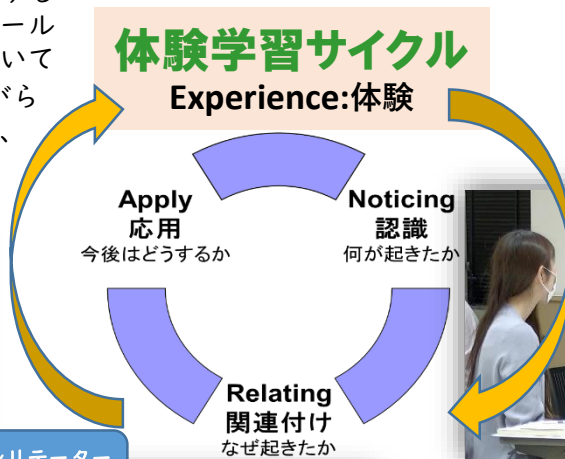
【講義・演習】

「NPプログラムを活用した当事者の学び」

岩手県立大学社会福祉学部准教授 櫻 幸恵氏の講義より

～ダメなら別の方法でいい、間違いというものはない (Nobody's Perfect) ～

という考え方を軸に、自分で選択し、解決策を獲得していくプログラムだと指導をいただきました。プログラムに参加する人は、4人グループで話し合いのルールを決め、課題を設定し、解決策について「体験学習サイクル」を回しながら話し合います。ファシリテーターは、参加者に寄り添い、気づきを掘り起こしていきます。



櫻幸恵氏

NP認定ファシリテーター
によるファシリテート



「体験学習サイクル」を回しながら話し合う参加者



伊藤昌子氏



藤井理華氏

【NPプログラムの期待される効果】

- ・子育て不安・ストレスの軽減、孤立感の軽減、児童虐待の予防
- ・自己の振り返りや気づき、自尊感情の回復、自己変革の力の醸成・エンパワーメント
- ・自尊感情の回復による生活改善意欲（就業意欲）の向上

《受講者の声》

- ・保護者だけでなく、職場内でもできるプログラムだと思いました。
- ・NPプログラムは、少人数での自由な発言の中に、流れの構成があり、すごく勉強になりました。
- ・実際にNPプログラムを体験することで、参加者の気持ちや主催する側のフォローの仕方などを知ることができて、とても勉強になりました。
- ・同じ子育て支援でも全く立場の違う方々と同じテーマを話し合えたことが有意義でした。
- ・実際に体験したことでNPプログラムについて知ることができました。今回のつながりは大切に活かしていきたいと思いました。

《受講者の評価》

A（有意義）	100%
B（どちらかといえば有意義）	0%
C（どちらかといえば有意義でない）	0%
D（有意義でない）	0%

《担当者（佐々木）から》

この事業の担当になり、NPプログラムについて、講師の先生方からご指導いただきました。「体験学習サイクル」を回しながら解決策を自分で選択して取り組んでみるという考え方は、支援担当者や子育て世代の方々のみならず、誰にとっても、次へ向かう意欲が高まる考え方だと思いました。多くの方に知ってほしいと思います。